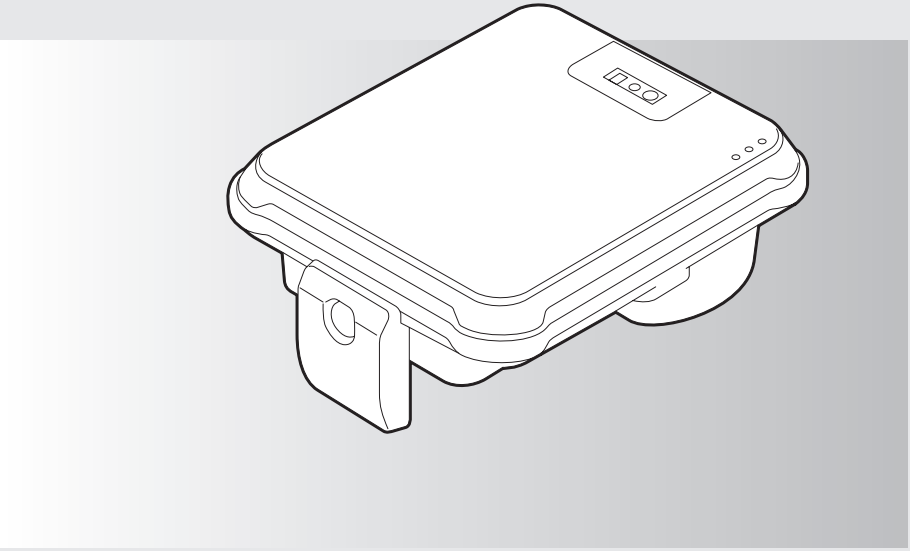
TEC

取扱説明書

テック　RFID ハンドリーダー

UF-3000 シリーズ



■このたびは本機をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
■お使いになる前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
　特に「安全上のご注意」は必ず読んで、正しくお使いください。
■お読みになったあとは本機のそばなど、いつも手元においてお使いください。

目 次

▶ 無線機器に対する使用上のご注意 3
　使用可能地域 3
　使用時の注意事項・使用制限について 3
　920MHz帯域使用製品について 3
　2.4GHz帯域使用製品について 4
　表示について 4
▶ 本書の表記について 5
　法律および公的規格について 5
　免責事項について 6
　用途制限について 6
　重要なお知らせ 7
　運用上のお願い 8
　本書で使用しているマークの意味 8
▶ 安全上のご注意(安全にお使いいただくために) 9
▶ 電気配線について 17
▶ 付属品などの確認 18
　付属品 18
　オプション製品 18
▶ 各部の名前と働き 19
　正 面 19
　背 面 20
▶ 本機をお使いになる前の準備 23
　バッテリーパック(オプション)を取り付ける／取り外す 23
　USBケーブル(別売)を接続する 29
　据え置き型にする 30
　ハンドリーダーグリップ(オプション)の取り付け／取り外し 30
　ホスト端末を取り付ける 32
　ストラップ(市販品)を取り付ける 35
　三脚(市販品)を取り付ける 36
　ハンドリーダー設置上の注意 37
▶ 電源のON/OFFについて 38
　電源をONにする 38
　電源をOFFにする 38
▶ ホスト端末と接続する 39
　Bluetoothインターフェイスによる接続 39
　Android端末との接続 39
　iOS端末との接続 40
　Windows端末との接続 41
　USBケーブル(別売)による接続 42
▶ タグ情報の読み取り方について 43
　タグ情報を読み取る 43
　タグ情報を書き込む 44
　RFタグの取り扱いについて 45
▶ バーコードの読み取り方について(スキャナ搭載モデル) 46
　バーコードを読み取る 46
▶ 日常のお手入れ 47
▶ 困ったときは 48
▶ 本機の仕様 52
▶ 保証とアフターサービス(必ずお読みください) 54
　修理のご相談など 55

お願い

・ 本機には、無線機能(無線モジュール)が装備されています。これらの機器をご使用になる前に、必ず『無線機器に対する使用上のご注意』をよくお読みください。

無線機器に対する使用上のご注意

本機には無線機能が装備されています。
以下の注意事項は、本機に対してのみ適用されます。

使用可能地域

本機は無線装置であり、使用できる国・地域は日本国内に限定されます。日本以外の国・地域で使用すると、その国・地域の法律により罰せられることがあります。

使用時の注意事項・使用制限について

本機は日本の電波法に準拠した製品です。

●本機を医療機器の近くに置かないこと

本機の出す電波が、医療機器(植込み型心臓ペースメーカーや植込み型除細動器など)の作動に影響を与える可能性があります。
万一、本機の使用により、医療機器などへ影響を与えた可能性がある場合は、直ちに使用を中止して、医療機関へご連絡ください。
本機の22cm以内に、心臓ペースメーカーや除細動器を植込んだ方を近づけないよう注意してください。

●分解・改造・修理をしない

けがの原因となります。分解・改造は電波法違反にもなります。修理は最寄りのサービスステーションへご依頼ください。

●電波環境の調査を行うこと

本機を使用する場合は必ず電波環境調査を行い、運用に支障がないことをご確認ください。
電波環境調査については、お買い上げの販売店へご相談ください。

●システム構築では十分な検証を行うこと

本機を使用する場合は必ず十分な検証を行い、運用に支障がないことをご確認ください。
システム構築については、お買い上げの販売店へご相談ください。

920MHz帯域使用製品について

本機は、電波を利用して通信を行います。したがって、設置場所、使用環境などにより通信性能が低下したり、近くの機器に影響を与えたりすることがあります。

●金属製の机の上、金属物のそばで使用しないこと

通信性能低下の原因となります。

●同周波数帯の機器の近くで使用しないこと

複数台による同ch動作や他製品の電波によって電波がぶつかる場合、登録局及び特定小電力の無線局は、電波法で定められる共用化条件より、電波を出さない状態になることがあります。この場合、タグ認識速度(反応)が遅くなることがあります。この状態をキャリアセンスと言います。
免許局はキャリアセンスをせずに電波を出すことができます。そのため、免許局と、他の登録局、特定小電力を同時に動作させた場合に、登録局、特定小電力の無線局は、タグ認識速度(反応)が極端に遅くなったり、動作できなくなることがあります。

© 東芝テック株式会社 2021-2026

2.4GHz帯域使用製品について

本機の使用周波数帯域では、電子レンジ等の産業･科学･医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局または特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して、電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに電波の発射を停止した上、最寄りのサービスステーションへご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーテーションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局に対して、電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、最寄りのサービスステーションへお問い合わせください。

補足

- 電子レンジ付近等の磁場、静電気、電波障害が発生するところや、2.4GHz付近の電波を使用しているものの近くでは、電波が届かない場合があります。

表示について

「2.4」　2.4GHz帯を使用する無線設備です。
「FH」　変調方式は周波数ホッピング（FH-SS方式）です。
「1」　想定干渉距離は10m以内です。

全域帯を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可能であることを表します。

本書の表記について

法律および公的規格について

本機は、日本国の電波法に基づく工事設計認証に適合した無線設備です。
日本国外で使用することはできません。
日本国内規格（電波法）
- 構内無線局/陸上移動局（第2条第1項第6号の無線設備）
- 構内無線局/陸上移動局（第2条第1項第6号の2の無線設備）
- 特定小電力機器　（第2条第1項第8号の2の無線設備）
- 第二世代小電力データ通信システム/ワイヤレスLANシステム
  （標準規格ARIB　STD-T66）

外国為替および外国貿易管理法上の取り扱いについて
本書には、『外国為替および外国貿易管理法』に基づく特定技術が含まれていることがあります。特定技術が含まれている場合、本書および本書のコピーを輸出または非居住者に提供するときは、同法に基づく許可が必要となります。

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

高調波電流規格　JIS　C61000-3-2　適合品

LED安全規格　IEC　62471-1:2006　リスク免除グループ

免責事項について

次のいずれかに該当して発生した障害については、当社は一切の責任を負いません。

(1)本書の記載事項に反するお取り扱い、お取り扱い上のはなはだしい不注意および誤用の場合

(2)火災、天災、地変、異常電圧およびこれに類する災害による場合

(3)当社のサービス担当以外による改造、分解、移動、修理に起因する場合

(4)当社が推奨する消耗品、部品以外の使用による場合

上記以外の場合においても、本機、オプション、およびそれらに付属または内蔵のソフトウェアの使用または使用不能(故障、誤動作、ハングアップ、ウィルス感染その他の不具合を含むが、これに限定されない)から生じた、逸失利益、データの損失、その他特別な、付随的、結果的、間接的損害をはじめとする損害、および第三者からの請求等について、当社がそのような損害の可能性について知らされていた場合であっても、当社は一切責任を負いません。
また、当社が関与しないハードウェア、ソフトウェアなどとの組み合わせによる使用不能(故障、誤動作、ハングアップ、ウィルス感染その他の不具合を含むが、これに限定されない)から生じた損害に関し、当社は一切責任を負いません。

用途制限について

● 本機は人の生命に直接関わる装置等(*1)を含むシステムに使用できるよう開発・制作されたものではありませんので、それらの用途には使用できません。

*1: 人の生命に直接関わる装置等とは、以下のようなものを言います。

- 生命維持装置や手術室用機器などの医療用機器
- 有毒ガスなど気体の排出装置および排煙装置
- 消防法、建築基準法など各種法律を遵守して設置しなければならない装置など

● 本機を、人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置等を含むシステム(*2)には使用できません。

*2: 人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置等を含むシステムとは、以下のようなものを言います。

- 原子力発電所の主機制御システム、原子力施設の安全保護系システム、その他、安全上重要な系統およびシステム(兵器システムを含む)
- 集団輸送システムの運転制御システムおよび航空管制制御システム

重要なお知らせ

- 本機をお使いになるときは、必ず本書に従ってください。本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関しては、当社は一切の責任を負いません。
- 製品本来の使用目的以外に使用して生じた損害に関しては、当社は一切の責任を負いません。
- 本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
- 本機および提供されるソフトウェアの一部または全部を、当社に無断で転売または複製することは堅くお断りします。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しております。万一、ご不審な点や誤り、お気づきの点がございましたら、お買い上げの販売店までご連絡ください。
- 本機（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格などには適合しておりません。本機を日本国外で使用された場合、当社は一切の責任を負いません。また、当社は本機に関する日本国外での保守サービス、および技術サポートなどは行っておりません。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- iOSは、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Androidは、Google Inc. の商標または登録商標です。
- Bluetooth®は、Bluetooth SIG Inc.の商標で、当社はライセンスに基づき使用しています。
- 本書に記載している会社名、商品名は、各社の登録商標または商標になっている場合があります。
- 使用済みのバッテリーパックは、リサイクル可能な貴重な資源です。ショート防止のため電極に絶縁テープをはり、サービス担当に回収を依頼してください。不法投棄すると法律で罰せられます。
- 当社は資源有効利用促進法の施行により、一般社団法人JBRCの取り組みに参加し、二次電池の回収を行っています。詳しくは、https://www.jbrc.com/をご覧ください。

運用上のお願い

- RFタグは事前に十分に評価している、推奨の物を使用してください。
- 手順に従って操作しても本機が正常に動作しない場合は、すぐに使用を中止してください。
- RFタグとアンテナ部の間に水や金属製のものがあると、読み取りできない場合があります。 RFタグを商品に取り付けるときは、金属から離れた位置にRFタグを取り付けてください。
- 本機の送信周波数帯は920MHz帯です。同周波数帯の機器が近くで運用されていないことを確認してください。本機と「他の機器」との間に電波干渉が発生した場合は、使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、機器の運用（電波の発射）を停止してください。
- 本機は電波を使用したRFIDハンドリーダーです。したがって、植込み型心臓ペースメーカーや除細動器、その他医療機器等に影響を与える恐れがあります。使用が禁止されている場所（医療施設、空港施設など）では絶対に使用しないでください。
  また、植込み型医療機器の装着者が、装着部位をアンテナ部から22㎝以内に近づかないよう注意してください。
- 複数台のRFID機器で運用する場合、機器間の距離が近いとRFタグがリードできない場合があります。あらかじめ、機器の間隔に問題ないことを確認の上、運用場所を決定してください。機器の間隔は6m以上を推奨します。
- 複数台による同ch動作や他製品の電波によって電波がぶつかる場合、登録局及び特定小電力の無線局は、電波法で定められる共用化条件より、電波を出さない状態になることがあります。この場合、タグ認識速度（反応）が遅くなることがあります。この状態をキャリアセンスと言います。

  免許局はキャリアセンスをせずに電波を出すことができます。そのため、免許局と、他の登録局、特定小電力を同時に動作させた場合に、登録局、特定小電力の無線局は、タグ認識速度（反応）が極端に遅くなったり、動作できなくなることがあります。
- 複数台で、同chで動作させる場合、 1台のみのときの読取範囲よりも、読取範囲が広くなることがあります。また、他のRFID機器の誤読を引き起こす可能性があります。誤読が許容できないような場合には、各々の機器のchを分けるか、機器の距離を20m以上離すことを推奨します。事前に十分な確認を行い運用に支障がないことをご確認ください。
- 本機とホスト端末との距離を遠ざけすぎるとBluetoothの通信が切断されます。
  2m以下での使用を推奨します。
- 本機をホスト端末につないで通信を行う際、ホスト端末の省電力マネジメント機能にご注意ください。ホスト端末が省電力モードに入ることで、通信系（Bluetooth、 USB接続）に予期せぬ切断エラーが発生することがあります。あらかじめ、ホスト端末の通信切断を伴う省電力設定（省電力レベル）を把握して、システム動作中はそれを解除することで、通信切断が起こらない様に注意してください。

本書で使用しているマークの意味

お願い ： できないこと、してはいけないこと、注意していただきたい情報について記述しています。

補足 ： 知っていると便利なことや補足情報を記述しています。

（→　） ： 詳しい説明のある項目やページを記述しています。
例）（→『困ったときは』）（→ P.48）

安全上のご注意（安全にお使いいただくために）

お買い上げいただきました製品（本機）および取扱説明書には、お使いになる方や他の人々への危害と財産の損害を未然に防ぎ、本機を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。

■ 表示の意味

⚠ 危険　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷（※1）を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

⚠ 警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷（※1）を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害（※2）を負う可能性が想定される内容および物的損害（※3）のみの発生が想定される内容を示しています。

※1：重傷とは失明や、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
※2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
※3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■ 図記号の例

注 意

△は、注意（危険・警告を含む）を促す事項を示しています。
具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示しています。

分解禁止

⃠ は、してはいけない行為（禁止事項）を示しています。
具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに絵や文章で示しています。

プラグを抜く

●は、必ずしてほしい行為（強制事項）を示しています。
具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。

■バッテリーパックの取り扱いについて

⚠ 危険

●バッテリーパックを分解・改造しないこと バッテリーパックには、危険を防止するための安全機構や保護装置が組み込まれています。これらを損なうと、発熱、発煙、破裂、発火の恐れがあります。	分解禁止
●バッテリーパックの電極を針金などの金属で接続しないこと バッテリーパックがショート状態となり、過大な電流が流れて発熱、発煙、破裂、発火の恐れがあります。またはショートした金属が、発火する恐れがあります。	禁止
●バッテリーパックを火の中に投げ入れたり、加熱したりしないこと バッテリーパック内部の絶縁物が溶けたり、ガス排出弁や安全機構を損傷したり、電解液に引火したりして発熱、発煙、破裂、発火の恐れがあります。	禁止
●バッテリーパックを高温になる場所に放置しないこと 熱によりバッテリーパック内部の樹脂セパレーターが損傷した場合、バッテリーパックがショート状態となり発熱、発煙、破裂、発火の恐れがあります。	禁止
●バッテリーパックを水や海水に濡らさないこと バッテリーパックに組み込まれている保護装置が壊れ、発熱、発煙、破裂、発火の恐れがあります。	水ぬれ禁止
●火のそばや炎天下などでの充電はしないこと 高温になると危険を防止するための安全機構や保護装置が働き、充電できなくなったり、保護回路が壊れて異常な電流や電圧で充電されてバッテリーパック内部で異常な化学変化が起こり、発熱、発煙、破裂、発火の恐れがあります。	禁止
●バッテリーパックを指定された充電方法以外で充電しないこと バッテリーパックの充電には弊社指定の充電器で充電してください。指定以外の充電器で充電しますと、バッテリーパックが過度に充電されたり、異常な電流で充電されてバッテリーパック内部で異常な化学反応が起こり、発熱、発煙、破裂、発火の恐れがあります。	禁止
●バッテリーパックにクギを刺したり、カナヅチで叩いたり、踏みつけたりしないこと バッテリーパック内部がショート状態となり、発熱、発煙、破裂、発火の恐れがあります。	禁止
●強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないこと 漏液、発熱、発煙、破裂、発火の恐れがあります。またバッテリーパックに組み込まれている保護装置が壊れると、異常な電流や電圧で充電されてバッテリーパック内部で異常な化学反応が起こり、発熱、発煙、破裂、発火の恐れがあります。	禁止
●外傷、変化の著しいバッテリーパックは使用しないこと 発熱、発煙、破裂、発火の恐れがあります。	禁止

■バッテリーパックの取り扱いについて

⚠ 危険

●バッテリーパックに直接ハンダ付けをしないこと 熱によりバッテリーパック内部の絶縁物が溶けたり、ガス排出弁や安全機構を損傷したりして発熱、発煙、破裂、発火の恐れがあります。	分解禁止
●バッテリーパックを無理に挿入しないこと バッテリーパックは挿入方向が決まっています。充電器やハンドリーダー本体にうまく挿入できない場合は、無理に挿入しないで挿入方向を確認してください。無理に挿入すると、充電器やハンドリーダー本体が損傷したり、バッテリーパックを破損したりして発熱、発煙、破裂、発火の恐れがあります。	禁止
●バッテリーパックを電源コンセントや車のシガレットコンセントに接続しないこと バッテリーパックの充電には弊社指定の充電器で充電してください。指定以外の充電器で充電しますと、バッテリーパックが過度に充電されたり、異常な電流で充電されてバッテリーパック内部で異常な化学反応が起こり、発熱、発煙、破裂、発火の恐れがあります。	禁止
●バッテリーパックは弊社指定の機器以外に使用しないこと バッテリーパックの寿命が低下したり、機器によっては異常な電流が流れたりして発熱、発煙、破裂、発火の恐れがあります。	禁止
●バッテリーパックが漏液したときは、絶対に液に触れないこと 万一、目に入った場合、失明の恐れがあります。こすらずにきれいな水で目を十分洗い、直ちに医師の治療を受けてください。手や衣服に付着したときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。	接触禁止
●バッテリーパックおよびACアダプターは必ず専用品を使用すること 専用品以外のバッテリーパックおよびACアダプターは、電圧や端子の極性が異なっていることがあるため、発熱、発煙、破裂、発火の恐れがあります。	専用品使用
●バッテリーパックは小さなお子様の手の届くところに放置しないこと 誤って飲み込むと、窒息の恐れがあります。万一飲み込んだときは、直ちに医師の治療を受けてください。	禁止
●金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないこと バッテリーパックがショート状態となり、発熱、発煙、破裂、発火の恐れがあります。または金属類が発火する恐れがあります。電極が金属に触れないように、ビニールなどでバッテリーパックを包んでください。	禁止
●ACアダプターを接続したままバッテリーパックの挿入・取り出しをしないこと 発熱、発煙、破裂、発火の恐れがあります。また故障の原因になります。	禁止

■バッテリーパックの取り扱いについて

⚠ 警告

●所定の充電時間を越えても充電が完了しない場合は、充電をやめること 発熱、発煙、破裂、発火の恐れがあります。	強制
●電子レンジや高圧容器に入れないこと 急に加熱されたり、密閉状態が壊れたりして発熱、発煙、破裂、発火する恐れがあります。	禁止
●万一、バッテリーパックから漏液、発煙、異臭が発生しているときは直ちに使用を止め、火気から遠ざけること 発熱、発煙、破裂、発火の恐れがあります。	強制

⚠ 注意

●使用済みのバッテリーパックは、ショート防止のため電極に絶縁テープをはり、サービス担当に回収依頼すること 不法投棄すると、法律で罰せられます。	強制
●危険防止のため保護機構が組み込まれています。保護機構に損傷を与える可能性のある静電気(製造者が保証する値以上)が発生する場所で使用しないこと 保護機構がこわれ発熱、発煙、破裂、発火の原因となるおそれがあります。	強制
●バッテリーパックの充電温度範囲は0 ～ 40℃です この温度範囲以外での充電はバッテリーパックを発熱、発煙、破裂、発火させる原因になるおそれがあります。	強制
●バッテリーパックを長期間使用しない場合は、機器から外して湿気の少ないところに保存してください。本機に接続したままや湿気の多いところに保存しないでください	強制

■ハンドリーダーの取り扱いについて

⚠ 警告

●植込み型医療機器の装着者の装着部位を、アンテナ部から22㎝以内に近づけないこと 植込み型医療機器に悪い影響を与える恐れがあります。	強制
●万一、煙が出たり変な臭いがしたときは、バッテリーパック、およびACアダプター、USBケーブルを本体から外し、お買い上げの販売店に連絡すること そのまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。	禁止
●万一、異物(金属片・液体)が本機に入った場合は、バッテリーパック、およびACアダプター、USBケーブルを本体から外し、お買い上げの販売店に連絡すること そのまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。	強制
●万一、本機を落としたり、カバーなどを破損した場合は、バッテリーパック、およびACアダプター、USBケーブルを本体から外し、お買い上げの販売店に連絡すること そのまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。	強制
●可燃ガスが発生する場所で使用しないこと 火災の恐れがあります。	禁止
●分解や改造、ご自身での修理はしないこと 火災・感電の恐れがあります。点検や修理については、お買い上げの販売店にご連絡ください。	分解禁止
●カバーの開いた状態で、濡れた手で本機を操作しないこと カバーの開いた部分から内部に水が入ると、感電の恐れがあります。また、可塑剤入りのすべり止め付き手袋をはめて操作しないでください。カバーが破損することがあります。	ぬれ手禁止
●カバーの開いた状態で、水がかかる場所で使用したり、水に濡らさないこと カバーの開いた部分から内部に水が入ると、火災・感電の恐れがあります。	水ぬれ禁止
●カバーの開いた状態で、本機に直接水をかけて清掃しないこと カバーの開いた部分から内部に水が入ると、火災・感電の恐れがあります。	禁止
●本機を落としたり、本機に強い衝撃を与えないこと カバーなどが破損し、火災・感電の恐れがあります。	禁止
●調理場や油で汚れている場所の付近など、油が付着する場所にACアダプターを置かないこと ACアダプターのカバーが破損し、火災・感電の原因となることがあります。	禁止

■ハンドリーダーの取り扱いについて

⚠ 注意

●バッテリーパックを使用時は、バッテリーパックが確実にセットされていることを確認すること 確実にセットされていないと持ち運び中にバッテリーパックが落ち、けがの原因となることがあります。	強制
●長期間使用しないときは安全のため、バッテリーパックを本機から外すこと 発熱、発煙、破裂、発火の原因となることがあります。	強制
●長期間使用しないときは安全のため、バッテリーパックを本機から外すこと バッテリーが過放電状態となり、過放電保護が働き利用できなくなることがあります。	強制
●湿気やほこりの多い場所、直射日光の当たる暑い場所に置かないこと 内部の温度が上がったり、絶縁が悪くなり、火災・感電の原因となることがあります。	禁止
●ぐらついた台の上や傾いたところ、振動の多い場所に置かないこと 落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。	禁止
●調理台や加湿器、熱器具のそばなど、油煙や湯気、熱が当たる場所に置かないこと 絶縁が悪くなったり、カバーや電源コードの被膜が溶け、火災・感電の原因となることがあります。	禁止
●本機の上に物を置かないこと 置いた物がバランスを崩して倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。	禁止
●冷気が直接当たる場所に本機を置かないこと 露がつき、火災・感電の原因となることがあります。	禁止
●本機を子供に使わせたり、幼児の手の届くところに置かないこと 感電・けがの恐れがあります。	禁止
●LED光を拡大鏡や光学機器で見ないこと 目に対する危険が増加します。	禁止

■ハンドリーダーの取り扱いについて

⚠ 注意

●LED光を見つめないこと 目に障害をきたす原因となることがあります。	禁止
●本機およびハンドリーダーグリップに磁気カードを近づけないこと 磁気カードを消磁させる原因となることがあります。	禁止
●RFタグ読み取り/書き込みを長時間連続して行うと、本機が熱くなることがあります 熱くなった箇所に、長時間触れると低温火傷の恐れがあります。長時間触れないようにしてください。	禁止
●シンナーやベンジン、可燃性ガスを使用したクリーナーなどで本機を清掃しないこと 火災の原因となることがあります。	禁止
●消毒等で塩素系薬剤を使用する際は、バッテリー端子等の金属部にかけないこと 故障の原因となることがあります。	禁止
●パソコンやモニターなどに向けて電波を送信しないこと 電磁環境耐性が不十分な機器に対して、本機のアンテナを向けて電波を送信すると、画面のちらつきが発生したり、電源が落ちるなどの不具合が発生する事があります。	禁止
●医療施設や空港施設など、使用を禁止されている場所で使用しないこと 医療機器や管制機器などに影響を与え、事故の原因となることがあります。	使用禁止
●ハンドリーダーグリップを取り付けるときに指を挟まないこと けがの原因となることがあります。	挟まれ注意
●スマートデバイスアダプターにスマートデバイスを取り付けるときに指を挟まないこと けがの原因となることがあります。	挟まれ注意

お願い

本機を正しくお使いいただくために、次のことを守ってください。守らないと、故障・誤動作・破損の原因となります。

●急激な温度変化を与えないでください。 結露が生じ、故障・誤動作の原因となります。	禁止
●ほこりの多いところ、振動が強いところに置かないでください。 故障・誤動作の原因となります。	禁止
●直射日光の当たるところ、熱器具や調理台のそば、水や油煙のかかるところには置かないでください。 故障・誤動作・破損・変形の原因となります。	禁止
●磁石やスピーカーなど、磁気を発するものの近くに置かないでください。 故障・誤動作の原因となります。	禁止
●テレビやラジオの近くでは使用しないでください。 電波妨害を引き起こす原因となります。	禁止
●本機を落としたりぶつけたり、本機に強い衝撃を与えないでください。 故障・誤動作・破損・変形の原因となります。	禁止
●お手入れをするときは、シンナーやベンジンなどの薬品類を使用しないでください。 変質・変形・変色・故障の原因となります。	禁止
●オプション類は当社純正品（指定品）を使用してください。 当社純正品（指定品）以外を使用すると、故障・誤動作の原因となります。	指定品使用
●本機の設置に関しては、お買い上げの販売店にご依頼ください。 専門知識を持った者が設置しないと、故障・誤動作・破損の原因となります。	強制

電気配線について

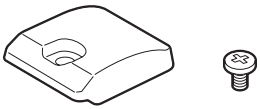
本機を正しくご使用いただくために、次のことを必ず確認してください。

●本機にACアダプターを接続する場合には、定格の電源電圧(交流100V±10%)をご使用ください。ただし、消費電力の大きな電気機器と同じ配線上から電源の供給を受けると、その機器が稼働するたびに電圧が大きく下がり、本機の誤動作や故障の原因になることがあります。したがって、本機の消費電力を考慮し、分電盤から十分に供給できる本機専用の配線を設けることをお勧めいたします。また、電圧の変動が激しい場合は、配線の電気抵抗(ラインインピーダンス)などを調査する必要があります。詳細はお買い上げの販売店にご相談ください。

付属品などの確認

付属品

付属品がすべてそろっているか確認してください。万一、不足しているものがある場合は、お買い上げの販売店までご連絡ください。

●据置用スペーサ（1個） ●据置用スペーサ用ネジ（1個） 	●保証書（1式） ●取扱説明書「使用上のご注意/安全上のご注意」（1枚） ●取扱説明書「バッテリーの正しい使い方」（1枚）

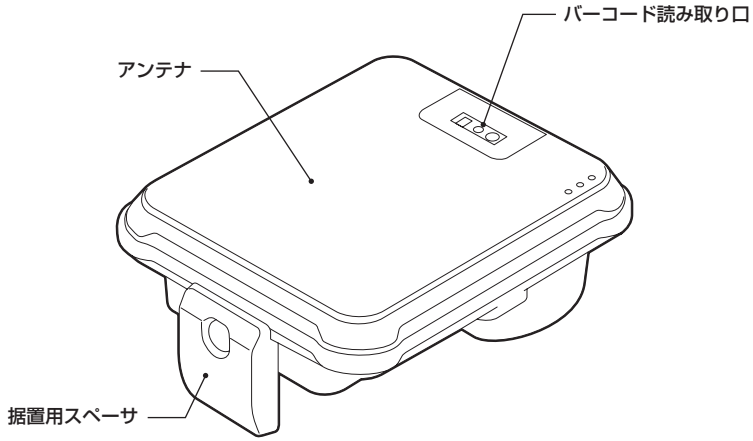
オプション製品

オプション製品･消耗品は、製品に合った当社純正品を、お買い上げの販売店にご注文ください。

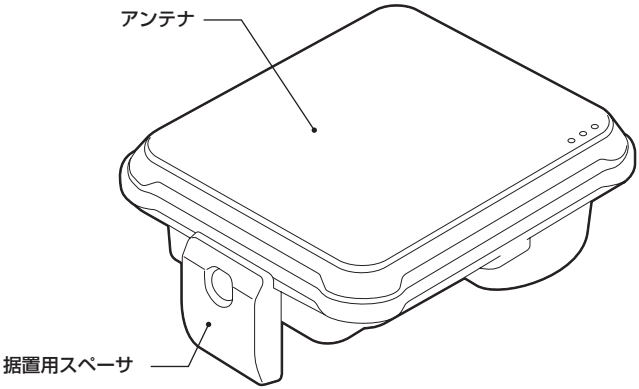
- ハンドリーダーグリップ　UF-3000-OPHG-S
- スマートデバイスアダプター　UF-3000-OPSA-S
  （ウォールマウント（本体側）、ユニバーサルアダプター（ホスト端末側）、M4 皿ネジ）
- ACアダプター　B-FP800-AC-S
- バッテリーパック　B-FP803-BTH-QM-R
- 6スロットバッテリー充電器　B-EP800-CHG6-R
- 1スロットバッテリー充電器　B-EP800-CHG-R

各部の名前と働き

正 面

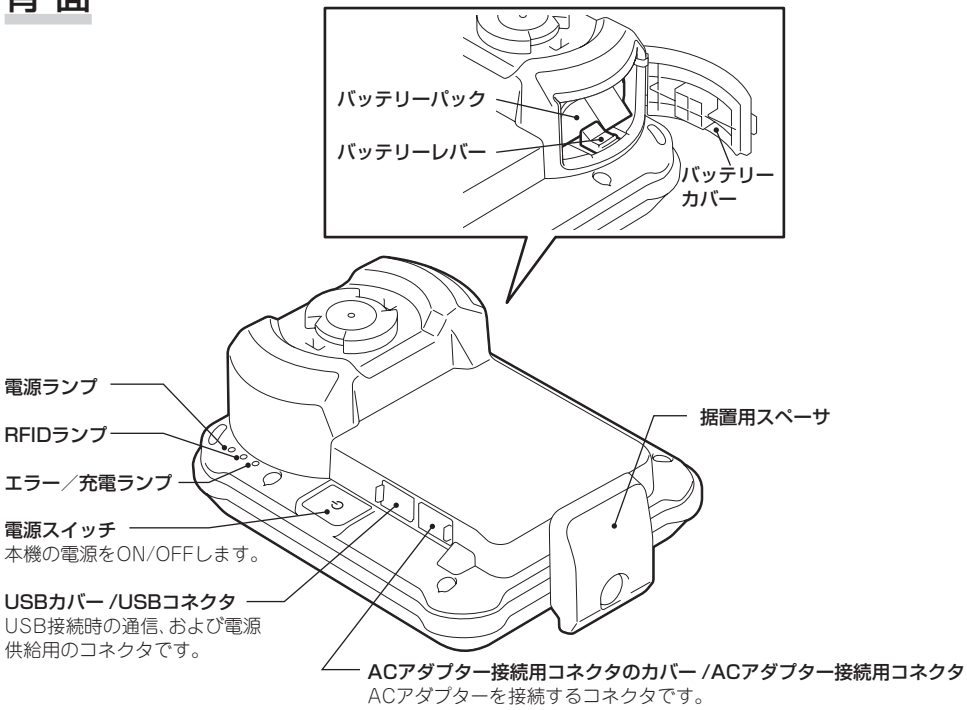


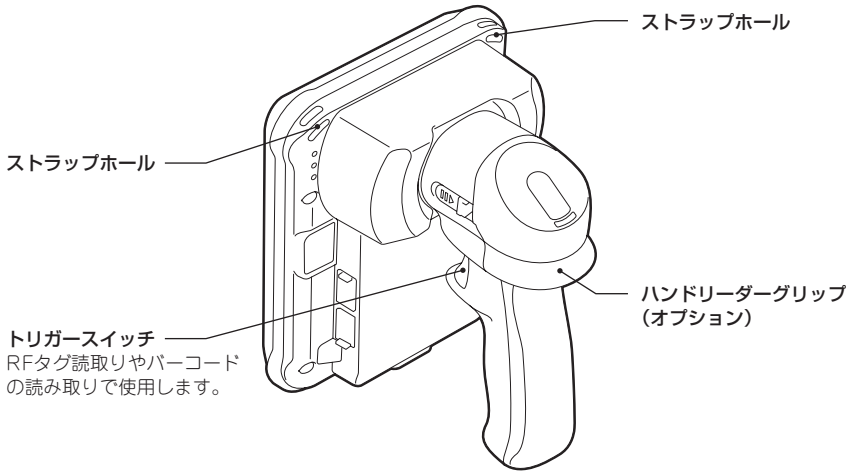
＜スキャナ搭載モデル：据え置き型時＞



＜スキャナなしモデル：据え置き型時＞

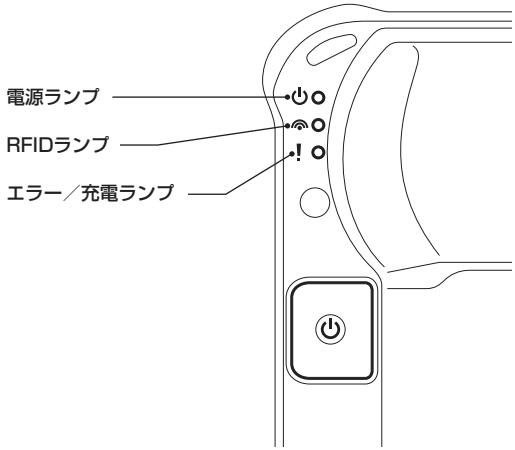
背 面





<スキャナ搭載モデル:ハンドリーダーグリップ装着時>

ランプの機能



<table>
<tr><th>ランプ名</th><th>色</th><th>機　能</th></tr>
<tr><td>電源ランプ</td><td>青</td><td>電源ON時に点灯します。
表示状態により、バッテリー容量を表します。
<table>
<tr><th>表示状態</th><th>容量</th><th>内　容</th></tr>
<tr><td>点灯</td><td>標準</td><td>正常な状態です。</td></tr>
<tr><td>点滅
（1秒点灯、1秒消灯）</td><td>少</td><td>使用可能時間が約15分の状態です。</td></tr>
<tr><td>点滅
（1秒点灯、3秒消灯）</td><td>極少</td><td>交換の合図です。
電波を出力できません。</td></tr>
<tr><td>消灯</td><td>無</td><td>残量がありません、または
バッテリーパックが取り外されている状態です。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>RFIDランプ</td><td>緑</td><td>電波を発信しているとき点灯します。
キャリアセンス中は点灯します。
バーコードデータ読取時に0.2秒点灯します。（スキャナ搭載モデル）
電源OFF時の充電完了時に点灯します。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>ランプ名</th><th>色</th><th>機　能</th></tr>
<tr><td>エラー／充電ランプ</td><td>橙</td><td>キャリアセンス中は点灯します。
エラー発生時は点灯します。
USBまたはBluetoothの未接続時に点灯します。
電源OFF時の充電状態を表します。
<table>
<tr><th>表示状態</th><th>内　容</th></tr>
<tr><td>点灯</td><td>充電中です。</td></tr>
<tr><td>点滅（1秒点灯、1秒消灯）</td><td>充電エラーです。</td></tr>
<tr><td>消灯</td><td>充電していません。</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

補足

- RFIDランプとエラー／充電ランプは、電波を発信しているときやエラー発生時に点灯する以外に、次のような場合に“同時に点灯”することがあります。
  複数台による同ch動作や他製品の電波によって電波がぶつかる場合、電波法で定められた共用化条件により、電波を出さない状態になります。この状態をキャリアセンスと言います。このキャリアセンス状態が続くと、RFIDランプとエラー／充電ランプは“同時に点灯”し、電波放出待ちを示します。
- RFIDランプとエラー／充電ランプが交互に点灯する場合は、故障している可能性があります。
  お買い上げの販売店またはサービス担当にご連絡ください。
- USB給電で動作している場合、送信出力の設定が13mWより大きいときは、電源ランプが点滅（1秒点灯、3秒消灯）となり電波を出力できません。

本機をお使いになる前の準備

ここでは本機へのバッテリーパックの取り付け／取り外しかた、およびACアダプターの接続、USBケーブルの接続、据え置き型での利用、保護フィルムの取り外し、ハンドリーダーグリップ、ホスト端末、ストラップ、三脚の取り付けについて説明します。

バッテリーパック（オプション）を取り付ける／取り外す

バッテリーパック（オプション）は、次の手順で取り付け／取り外しをしてください。

お願い

- バッテリーパックは本機専用品をご使用ください。
  バッテリーパック：B-FP803-BTH-QM-R
- 使用開始時のバッテリーパックは充電が十分ではありません。別売のACアダプターで充電してください。ACアダプターは専用品をご使用ください。
  ACアダプター：B-FP800-AC-S
- バッテリーパックを充電するときは、ACアダプターに付属の取扱説明書をご覧ください。

⚠危険

- **バッテリーパックを分解・改造しないこと**
  バッテリーパックには、危険を防止するための安全機構や保護装置が組み込まれています。これらを損なうと、発熱、発煙、破裂、発火の恐れがあります。
- **バッテリーパックの電極を針金などの金属で接続しないこと**
  バッテリーパックがショート状態となり、過大な電流が流れて発熱、発煙、破裂、発火の恐れがあります。またはショートした金属が、発火する恐れがあります。
- **バッテリーパックを火の中に投げ入れたり、加熱したりしないこと**
  バッテリーパック内部の絶縁物が溶けたり、ガス排出弁や安全機構を損傷したり、電解液に引火したりして発熱、発煙、破裂、発火の恐れがあります。
- **バッテリーパックを高温になる場所に放置しないこと**
  熱によりバッテリーパック内部の樹脂セパレーターが損傷した場合、バッテリーパックがショート状態となり発熱、発煙、破裂、発火の恐れがあります。
- **バッテリーパックを水や海水に濡らさないこと**
  バッテリーパックに組み込まれている保護装置が壊れ、発熱、発煙、破裂、発火の恐れがあります。
- **火のそばや炎天下などでの充電はしないこと**
  高温になると危険を防止するための安全機構や保護装置が働き、充電できなくなったり、保護回路が壊れて異常な電流や電圧で充電されてバッテリーパック内部で異常な化学変化が起こり、発熱、発煙、破裂、発火の恐れがあります。

⚠危険

- **バッテリーパックを指定された充電方法以外で充電しないこと**
  バッテリーパックの充電には弊社指定の充電器で充電してください。指定以外の充電器で充電しますと、バッテリーパックが過度に充電されたり、異常な電流で充電されてバッテリーパック内部で異常な化学反応が起こり、発熱、発煙、破裂、発火の恐れがあります。

- **バッテリーパックにクギを刺したり、カナヅチで叩いたり、踏みつけたりしないこと**
  バッテリーパック内部がショート状態となり、発熱、発煙、破裂、発火の恐れがあります。

- **強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないこと**
  漏液、発熱、発煙、破裂、発火の恐れがあります。またバッテリーパックに組み込まれている保護装置が壊れると、異常な電流や電圧で充電されてバッテリーパック内部で異常な化学反応が起こり、発熱、発煙、破裂、発火の恐れがあります。

- **外傷、変化の著しいバッテリーパックは使用しないこと**
  発熱、発煙、破裂、発火の恐れがあります。

- **バッテリーパックに直接ハンダ付けをしないこと**
  熱によりバッテリーパック内部の絶縁物が溶けたり、ガス排出弁や安全機構を損傷したりして発熱、発煙、破裂、発火の恐れがあります。

- **バッテリーパックを無理に挿入しないこと**
  バッテリーパックは挿入方向が決まっています。充電器やハンドリーダー本体にうまく挿入できない場合は、無理に挿入しないで挿入方向を確認してください。無理に挿入すると、充電器やハンドリーダー本体が損傷したり、バッテリーパックを破損したりして発熱、発煙、破裂、発火の恐れがあります。

- **バッテリーパックを電源コンセントや車のシガレットコンセントに接続しないこと**
  バッテリーパックの充電には弊社指定の充電器で充電してください。指定以外の充電器で充電しますと、バッテリーパックが過度に充電されたり、異常な電流で充電されてバッテリーパック内部で異常な化学反応が起こり、発熱、発煙、破裂、発火の恐れがあります。

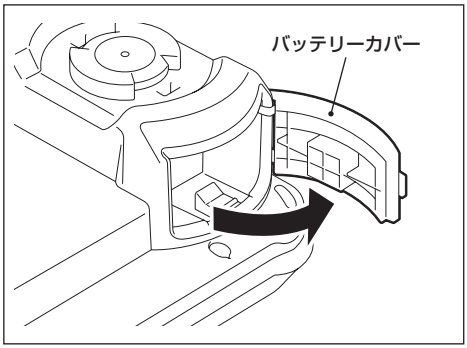
- **バッテリーパックは本機以外の機器に使用しないこと**
  バッテリーパックの寿命が低下したり、機器によっては異常な電流が流れたりして発熱、発煙、破裂、発火の恐れがあります。

- **バッテリーパックが漏液したときは、絶対に液に触れないこと**
  万一、目に入った場合、失明の恐れがあります。こすらずにきれいな水で目を十分洗い、直ちに医師の治療を受けてください。手や衣服に付着したときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。

⚠危険	・**バッテリーパックおよびACアダプターは必ず専用品を使用すること** 専用品以外のバッテリーパックおよびACアダプターは、電圧や端子の極性が異なっていることがあるため、発熱、発煙、破裂、発火の恐れがあります ・**バッテリーパックは小さなお子様の手の届くところに放置しないこと** 誤って飲み込むと、窒息の恐れがあります。万一飲み込んだときは、直ちに医師の治療を受けてください ・**金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないこと** バッテリーパックがショート状態となり、発熱、発煙、破裂、発火の恐れがあります。または金属類が発火する恐れがあります。電極が金属に触れないように、ビニールなどでバッテリーパックを包んでください。 ・**ACアダプターを接続したままバッテリーパックの挿入・取り出しをしないこと** 発熱、発煙、破裂、発火の恐れがあります。また故障の原因になります。
⚠警告	・**所定の充電時間を越えても充電が完了しない場合は、充電をやめること** 発熱、発煙、破裂、発火の恐れがあります。 ・**電子レンジや高圧容器に入れないこと** 急に加熱されたり、密閉状態が壊れたりして発熱、発煙、破裂、発火する恐れがあります。 ・**万一、バッテリーパックから漏液、発煙、異臭が発生しているときは直ちに使用を止め、火気から遠ざけること** 発熱、発煙、破裂、発火の恐れがあります。
⚠注意	・**使用済みのバッテリーパックは、ショート防止のため電極に絶縁テープをはり、サービス担当に回収依頼すること** 不法投棄すると、法律で罰せられます。 ・**危険防止のため保護機構が組み込まれています。保護機構に損傷を与える可能性のある静電気(製造者が保証する値以上)が発生する場所で使用しないこと** 保護機構がこわれ発熱、発煙、破裂、発火の原因となるおそれがあります。 ・**バッテリーパックの充電温度範囲は0 ～ 40℃です** この温度範囲以外での充電はバッテリーパックを発熱、発煙、破裂、発火させる原因になるおそれがあります。 ・**バッテリーパックを長期間使用しない場合は、機器から外して湿気の少ないところに保存してください。本機に接続したままや湿気の多いところに保存しないでください**

バッテリーパックを取り付ける

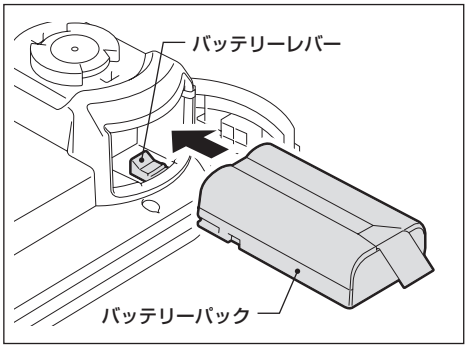
1 バッテリーカバーを開けます。



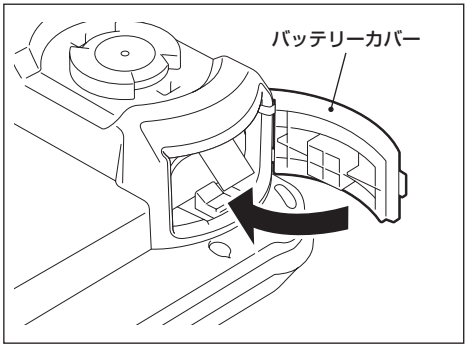
お願い

- バッテリーカバーを開閉する場合、本機に付着した水、砂、泥などの汚れを確実に除去し、これらの汚れが入りやすい場所をさけて開閉してください。
- バッテリーカバーを持って本機を持ち上げないでください。

2 バッテリーパックを図の向きにして本体に挿入します。
バッテリーレバーでロックする位置までバッテリーパックを押し込みます。



3 バッテリーカバーを閉めます。
本体とバッテリーカバーの間に隙間ができないように確実に閉めてください。

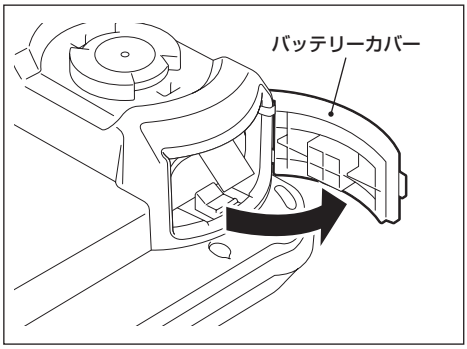


お願い

- バッテリーカバーを開閉する場合、本機に付着した水、砂、泥などの汚れを確実に除去し、これらの汚れが入りやすい場所をさけて開閉してください。
- バッテリーカバーを確実に閉めてください。水や埃が内部に入ることがあります。

バッテリーパックを取り外す

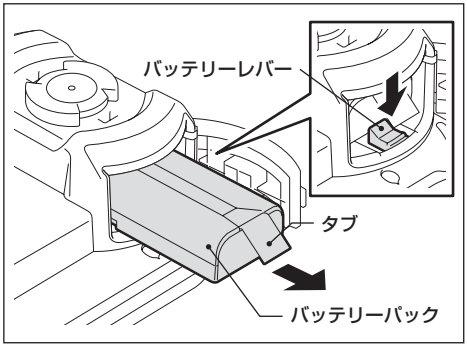
1 バッテリーカバーを開けます。



お願い

- バッテリーカバーを開閉する場合、本機に付着した水、砂、泥などの汚れを確実に除去し、これらの汚れが入りやすい場所をさけて開閉してください。
- バッテリーカバーを持って本機を持ち上げないでください。

2 バッテリーレバーを矢印の方向に押すとバッテリーパックが手前に少し飛び出しますので、バッテリーパックのタブを持ち、バッテリーパックを引き抜きます。



ACアダプター（オプション）を接続する

本機の充電はバッテリーパックを装着した状態でACアダプター:B-FP800-AC-S（オプション）を接続して行います。また、ACアダプターを装着した状態で本機を動作させることができます。
ACアダプターは次の手順で本機に接続してください。

1 本機にバッテリーパックがセットされていることを確認します。

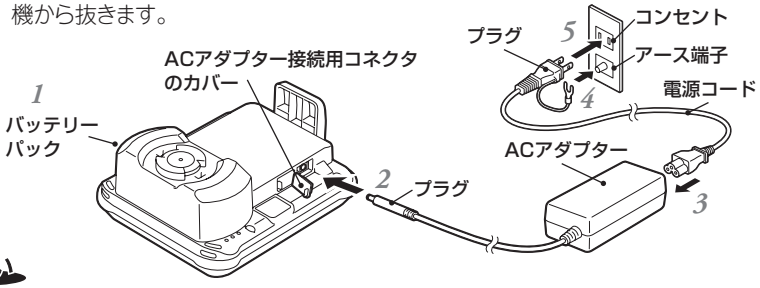
2 ACアダプター接続用コネクタのカバーを開けます。
ACアダプターのプラグを、本機のACアダプター接続用コネクタに差し込みます。

3 電源コードをACアダプターに接続します。

4 コンセントのアース端子にアース線を接続します。

5 電源コードのプラグをコンセントに根元まで確実に差し込むと、本機の充電ランプが橙色に点灯します。
充電が必要か否かは、本機が自動的に判断します。

6 充電が完了したら電源コードのプラグをコンセントから抜き、ACアダプターのプラグを本機から抜きます。



お願い

- ACアダプター接続用コネクタのカバーを開閉する場合、本機に付着した水、砂、泥などの汚れを確実に除去し、これらの汚れが入りやすい場所をさけて開閉してください。
- ACアダプター接続用コネクタのカバーを持って本機を持ち上げないでください。
- ACアダプター:B-FP800-AC-Sの取扱説明書をご確認ください。

補足

- バッテリーパックの状態や周辺温度等により、充電時間は変動します。
- 本機が動作中（RFID読取中、スキャナ読取中）は充電を行いません。待機中や電源OFF時に充電を行います。

USBケーブル(別売)を接続する

バッテリーパックを装着した状態で、電力を供給可能なPCやPOSなどのホスト機器にUSBケーブル(別売)で接続することにより充電することができます。また、本機を動作させることができます。
USBケーブルは次の手順で本機に接続してください。

お願い

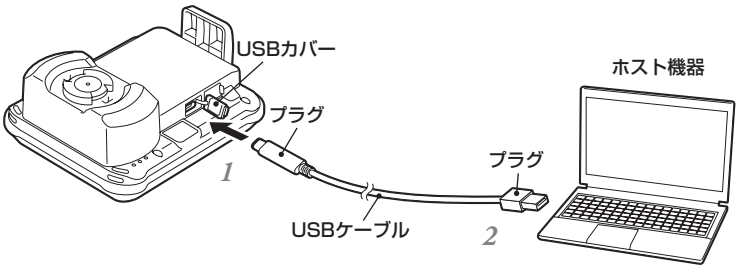
・ USBケーブル(別売)は、TypeCの規格認証品または規格準拠品を使用してください。

補足

・ デフォルト設定では、USB充電ができません。
USB充電を実施する場合は、設定ツール等でUSB充電許可に変更してください。
・ ホスト機器のUSBから供給される電流供給能力によっては、動作が不安定になったり、充電時間が長くなることがあります。
また、ホスト機器からのUSB給電のみで本機を動作させる場合、ホスト側のバッテリーの消耗を早める可能性もあります。
・ Android端末との接続をUSB/BLEで切り替える場合、一度UF-3000の電源をオフにしてください。
・ 本機が動作中(RFID読取中、スキャナ読取中)は充電を行いません。待機中や電源OFF時に充電を行います。

1 USBカバーを開けます。
USBケーブルのプラグを、本機のUSBコネクタに差し込みます。

2 USBケーブルのもう片方のプラグをホスト機器に接続します。



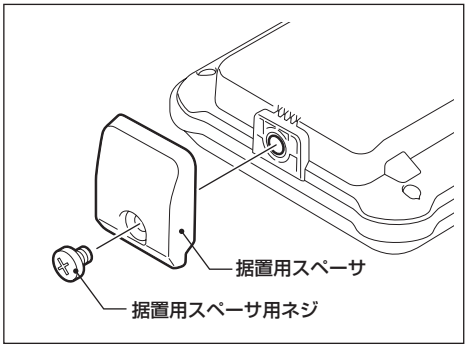
お願い

・ USBカバーを開閉する場合、本機に付着した水、砂、泥などの汚れを確実に除去し、これらの汚れが入りやすい場所をさけて開閉してください。
・ USBカバーを持って本機を持ち上げないでください。

据え置き型にする

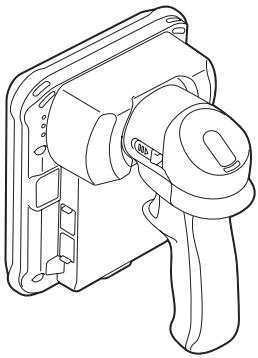
POS会計、検品の用途で据え置き型で使用するときは、付属の据置用スペーサを次の手順で取り付けてください。

1 据置用スペーサを図のように本体に取り付け、据置用スペーサ用ネジで固定します。

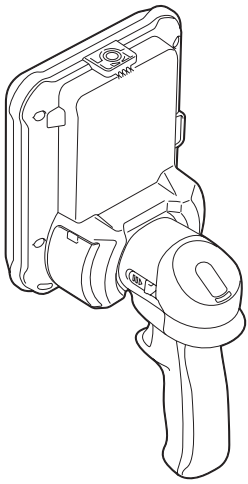


ハンドリーダーグリップ（オプション）の取り付け／取り外し

本機を棚卸し、探索などで使用するときは、ハンドリーダーグリップ:UF-3000-OPHG-S（オプション）を次の手順で取り付け／取り外ししてください。
ハンドリーダーグリップは通常向き取り付けのほか、逆向きに取り付けることができます。
店舗での棚卸しの際に、用途に応じた取り付け方法でご利用ください。



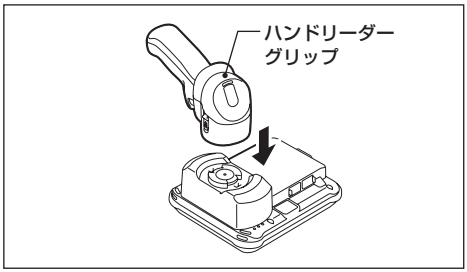
＜通常向き取り付け＞



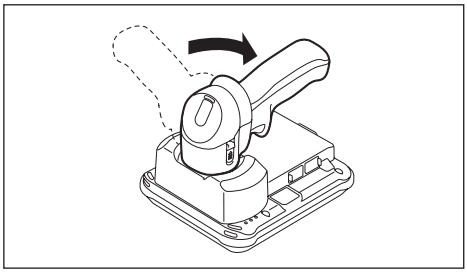
＜逆向き取り付け＞

取り付け

1 ハンドリーダーグリップを本機に対して図の向きに差し込みます。

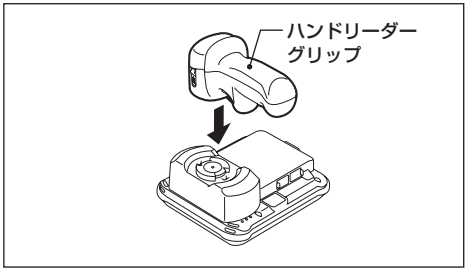


2 ハンドリーダーグリップを時計回り方向にロックする位置まで回転させ、固定します。



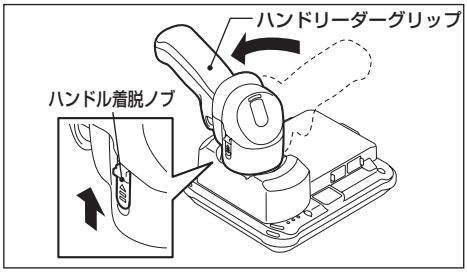
補足

・ハンドリーダーグリップを逆向きに取り付けするときは、図の位置に差し込み、取り付けを行います。



取り外し

1 ハンドリーダーグリップのハンドル着脱ノブ2ヶ所を矢印方向にスライドしながら、ハンドリーダーグリップを反時計回り方向に90°回転させ、本機から取り外します。



ホスト端末を取り付ける

ハンドリーダーグリップ:UF-3000-OPHG-S（オプション）にホスト端末を取り付けて使用するときは、スマートデバイスアダプター:UF-3000-OPSA-S（オプション）を使用して次の手順で取り付けてください。

お願い

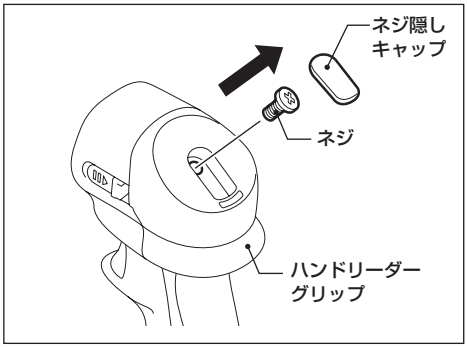
ウォールマウント（本体側）とユニバーサルアダプター（ホスト端末側）は以下の注意を行ってください。

- ユニバーサルアダプター（ホスト端末側）は、ガラス製または金属製のフラットな面にのみ取り付け可能です。それ以外の素材、または凹凸がある表面への取り付けについては、理想の強度では張り付きません。
- シリコン系ケースやノンスティック（非粘着）コーティング加工など、取り付けができない素材もあります。
- 事前に取り付け面、および粘着強度をよく確認の上、使用を開始してください。
- 一度剥がしたものの再利用は推奨されませんので、新しいハンドリーダーグリップ、およびスマートデバイスアダプターをお買い求めください。
- 取り付け方法については、同封の取付説明書にも記載されていますので、そちらも合わせてご確認ください。

ハンドリーダーグリップへのウォールマウント（本体側）の取り付け

1 ハンドリーダーグリップからネジ隠しキャップを取り外します。

2 ネジ1個を取り外します。



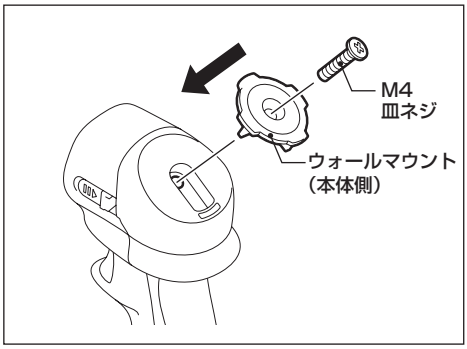
お願い

- 取り外したネジ隠しキャップとネジは、大切に保管してください。

3 ウォールマウント（本体側）の取り付け面をきれいに清掃してください。

4 ウォールマウント（本体側）裏面の両面テープ保護シートを剥がします。

5 図のようにウォールマウント（本体側）をハンドリーダーグリップに取り付け、付属のネジ1個で固定します。



補足

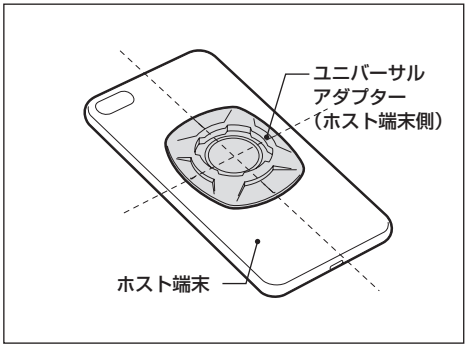
・ ウォールマウント（本体側）は時間が経過するにしたがってしっかりと粘着します。

ホスト端末へのユニバーサルアダプター（ホスト端末側）の取り付け

1 ホスト端末の取り付け面をきれいに清掃してください。

2 ユニバーサルアダプター（ホスト端末側）裏面の両面テープ保護シートを剥がします。

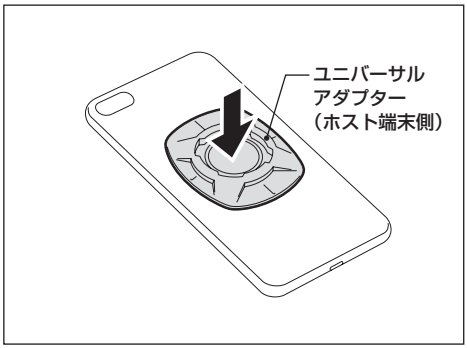
3 ホスト端末のなるべく中央にユニバーサルアダプター（ホスト端末側）をあてます。



お願い

・ ユニバーサルアダプター（ホスト端末側）が中央からずれるとホスト端末の自重でアダプターに負担がかかりやすくなるのでご注意ください。

4 位置が決まったら、アダプターを上からしっかりと押して固定します。



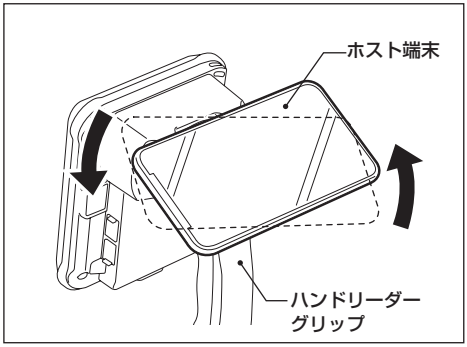
補足

・ ユニバーサルアダプター（ホスト端末側）は時間が経過するにしたがってしっかりと粘着します。

ホスト端末のハンドリーダーグリップへの取り付け

1 本機にウォールマウントを取り付けたハンドリーダーグリップを取り付けます。（→ P.30）

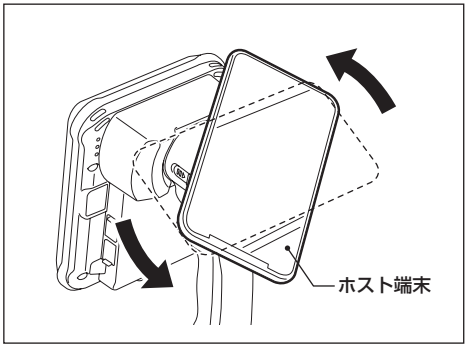
2 ハンドリーダーグリップのウォールマウントに対して、ホスト端末のユニバーサルアダプター（ホスト端末側）を斜め45°の角度の位置ではめ込み、右に（または左に）45°回転させると、ホスト端末を横向き（または縦向き）でロックします。



3 装着後は、確実にロックされているか確認し、使用してください。

ホスト端末のハンドリーダーグリップからの取り外し

1 ホスト端末を45°回転させるとロックが外れます。その状態でホスト端末をハンドリーダーグリップから上に持ち上げると取り外すことができます。



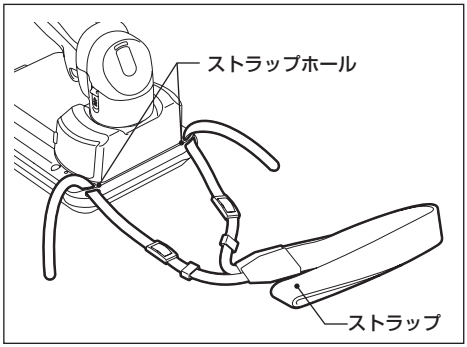
ストラップ（市販品）を取り付ける

ストラップ（市販品）は、次の手順で取り付けてください。

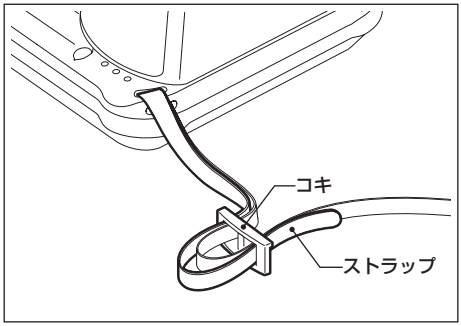
補足

・使用方法や取り付け方法については、ストラップ（市販品）の取扱説明書にも記載されていますので、そちらも合わせてご確認ください。

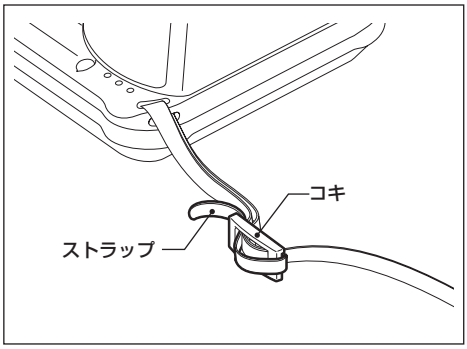
1 ストラップの両端を、左右のストラップホールに通します。



2 コキにストラップの先端を通し、コキをスライドさせて使いやすい長さに調整します。



3 図のようにストラップの先端を折り返し、コキにもう一度通して固定します。



お願い

・ストラップを持って振り回さないでください。

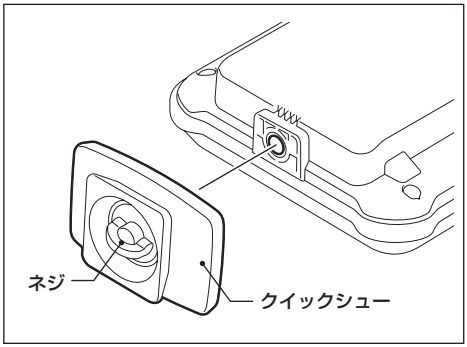
三脚（市販品）を取り付ける

簡易ゲートとして使用するときは三脚（市販品）を、次の手順で取り付けてください。

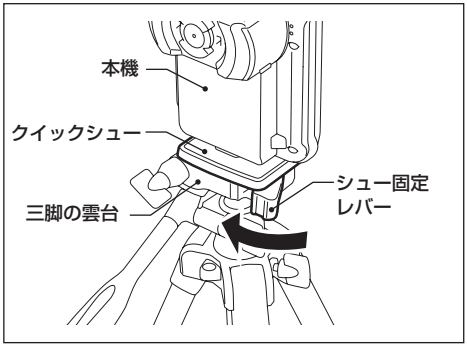
補足

・使用方法や取り付け方法については、三脚（市販品）の取扱説明書にも記載されていますので、そちらも合わせてご確認ください。

1 図の位置に三脚から取り外したクイックシューを取り付け、クイックシューのネジを固定します。



2 三脚の雲台に本機を取り付けたクイックシューを戻し、シュー固定レバーでしっかり締めこみます。



お願い

・規格より太いネジや、長いネジを使用すると本体を破損する可能性があります。規格外のネジは使用しないでください。
規格　ISO1222　1/4-20UNC　ネジ直径 約6mm　長さ 4.5mm±0.2mm

ハンドリーダー設置上の注意

固定して使用する場合、次の内容に注意してください。

- **金属製の什器に対して、ハンドリーダーのアンテナ放射面を什器側に向けた形では設置しないでください。**

  ハンドリーダーが故障する可能性があります。

- **ハンドリーダーのアンテナ放射面を対面設置する場合、ハンドリーダー同士の距離を30cm以上離すようにしてください。**

  ハンドリーダーが故障する可能性があります。

- **ハンドリーダーのアンテナ放射面の上に、ACアダプターやUSBケーブル等を配置するようなことは避けてください。**

  ハンドリーダーが誤動作する可能性があります。また、ハンドリーダーの特性が低下します。

- **ハンドリーダーを什器などに内蔵設置するような場合は、ハンドリーダーの周囲環境温度が、製品使用温度を超えないようにしてください。**

  ハンドリーダーが誤動作する可能性があります。また、ハンドリーダーの特性が低下します。

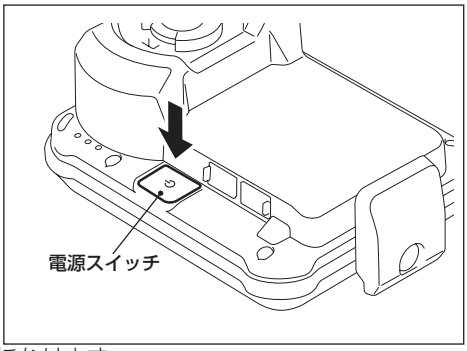
- **ハンドリーダーに、ACアダプターやUSBケーブルを接続して常設するような場合は、ACアダプターのプラグやUSBケーブルのコネクタが抜けないように設置箇所に固定するなど、適切な措置をはかってください。**

  ハンドリーダーが動作しない。ハンドリーダーとの通信ができないといったトラブルを防ぐことができます。

電源のON/OFFについて

電源のON/OFFは、本機上部の電源スイッチで行ってください。

電源をONにする



1 ホスト端末の電源をONにしてから、本機の電源スイッチをONにします（電源スイッチを押します）。

2 電源ランプとエラー／充電ランプが点灯します。
ホスト端末との接続が完了すると電源ランプだけが点灯または点滅状態になります。

補足

・ ランプの状態が上記のとおりにならないときは、『困ったときは』を参照ください。

電源をOFFにする

1 RFIDランプやエラーランプが消灯していることを確認し、本機の電源スイッチをOFFにします（電源スイッチを長押します）。

2 ホスト端末の電源をOFFにします。

お願い

・ RFIDランプやエラー／充電ランプが点滅または点灯しているときは、本機の電源スイッチをOFFにしないでください。読み取ったRFタグのデータが消失したり、ホスト端末に悪い影響を及ぼすことがあります。
・ 電源を完全にOFFにするには、ACアダプター、USBケーブルを本体から外してください。

ホスト端末と接続する

ホスト端末との通信方法には、Bluetoothインターフェイスによる接続、またはUSBケーブル(別売)による接続で行います。

お願い

- 本機はBluetoothもしくはUSBいずれかで通信が行われたあと、Bluetooth/USBの通信を切り替える場合は、バッテリーパックおよびACアダプター、USBケーブルを本体から外してください。
- ホスト端末のプライバシー項目にある位置情報をONにしてください。
- ホスト端末のBluetooth設定画面から事前にペアリングを行わないでください。
  Bluetooth設定画面でペアリングした場合、正常に接続できないことがあります。

Bluetoothインターフェイスによる接続

Bluetoothインターフェイスで本機を使用するためには、最初に接続設定を行う必要があります。
ここではホスト端末(Android端末またはiOS端末)との接続方法について説明します。

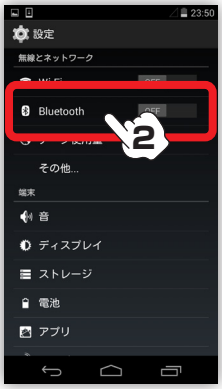
Android端末との接続

本機の電源を入れた状態で、ホスト端末から接続設定を行います。

補足

- ご利用のホスト端末によって一部表示される画面が異なる場合があります。詳しくは、お使いのホスト端末の取扱説明書をご覧ください。
- 設定ツール以外のアプリを使用される場合は、本体に記載されているBD ADDRESSを確認し、使用するアプリ内で接続してください。

1 ホーム画面で、[設定]アイコンをタップします。



2 設定画面で、[Bluetooth]をタップします。

3 Bluetooth画面で、スイッチボタンをタップして、オンに設定します。

iOS端末との接続

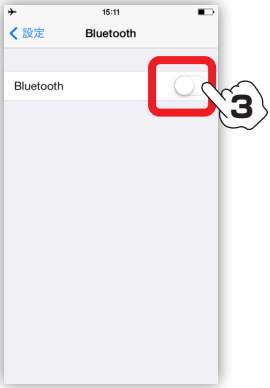
本機の電源を入れた状態で、ホスト端末から接続設定を行います。

補足

- ご利用のホスト端末によって一部表示される画面が異なる場合があります。詳しくは、お使いのホスト端末の取扱説明書をご覧ください。
- 設定ツール以外のアプリを使用される場合は、本体に記載されているBD ADDRESSを確認し、使用するアプリ内で接続してください。

1 ホーム画面で、[設定]をタップします。

2 設定画面で、[Bluetooth]をタップします。



3 Bluetooth画面で、スイッチボタンをタップして、オンに設定します。

Windows端末との接続

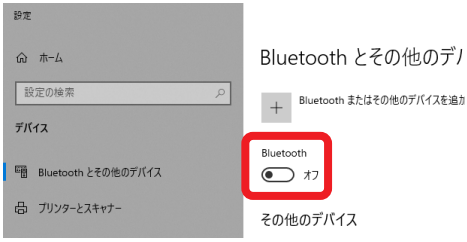
本機の電源を入れた状態で、ホスト端末から接続設定を行います。

補足

- ご利用のホスト端末によって一部表示される画面が異なる場合があります。詳しくは、お使いのホスト端末の取扱説明書をご覧ください。
- 設定ツール以外のアプリを使用される場合は、本体に記載されているBD ADDRESSを確認し、使用するアプリ内で接続してください。
- 予めTEC RFID USB Driversをインストールしてください。

1 デスクトップ画面で[Bluetoothデバイス]を選択し、[Bluetoothデバイスの追加]を選択します。

2 [Bluetooth]をオンにします。



USBケーブル(別売)による接続

POS端末、Windows PC端末、およびAndroid端末は、USBケーブル(別売)による接続が行えます。
USBケーブルは次の手順で本機に接続してください。

お願い

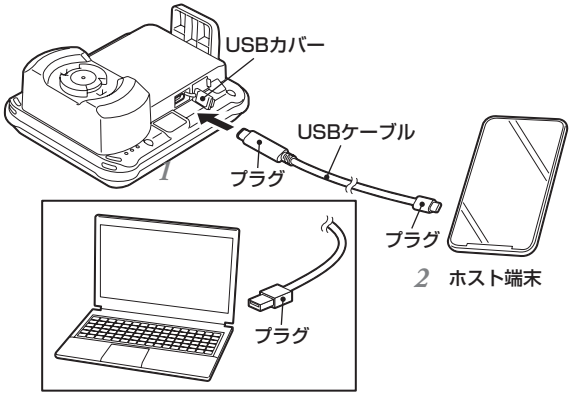
- USBケーブル(別売)は、TypeCの規格認証品または規格準拠品を使用してください。
- USB2.0規格認証品または規格準拠品を使用してください。
- データ伝送用(充電専用は不可)を使用するようにしてください。
- Android端末使用時はバッテリーまたはACアダプターでの動作をお願いします。

補足

- Windows PC端末には、本機を最大4台まで接続できます。複数台を接続する場合は、本機の設定変更が必要です。設定変更方法については、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 本機が動作中(RFID読取中、スキャナ読取中)は充電を行いません。待機中や電源OFF時に充電を行います。

1 USBカバーを開けます。
USBケーブルのプラグを、本機のUSBコネクタに差し込みます。

2 USBケーブルのもう片方のプラグをホスト端末に接続します。



お願い

- USBカバーを開閉する場合、本機に付着した水、砂、泥などの汚れを確実に除去し、これらの汚れが入りやすい場所をさけて開閉してください。
- USBカバーを持って本機を持ち上げないでください。
- Android/iOSの推奨端末および推奨USBケーブルは、お買い上げの販売店にご相談ください。

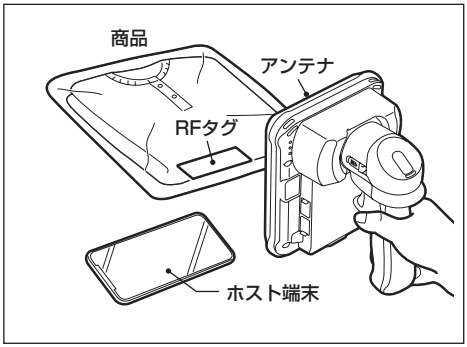
タグ情報の読み取り方について

タグ情報を読み取る

1 ホスト端末と本機の電源をONにして接続します。

2 RFタグの付いた商品に、本機のアンテナをかざします。

3 タグ情報が正しく読み取られると、ホスト端末に情報が入力されます。



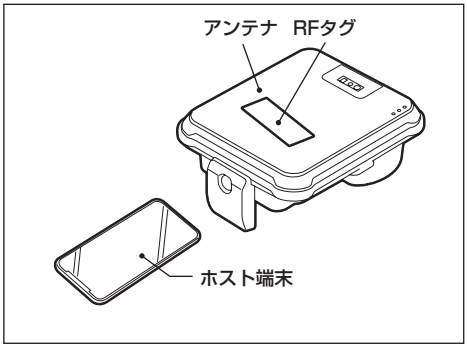
補足

- 複数のRFタグを同時に読み取れます。
- RFタグを持ってかざすと、読み取り精度が低下することがあります。
- RFタグとアンテナの間に金属製の物を入れると、読み取り精度が低下することがあります。
- トリガースイッチを有効に設定している場合は、トリガースイッチを押すことでRFタグの読み取りを開始します。
  RFタグを読み取れない場合は、トリガースイッチ操作の有無および設定内容をご確認ください。

タグ情報を書き込む

1 ホスト端末と本機の電源をONにして接続します。

2 アンテナを上向きで水平になるように置きます。
RFタグ1個を、アンテナの中央に置きます。



お願い

・電波送信出力を最適にして、周辺に他のRFタグを置かないでください。
他のRFタグに書き込む可能性があります。

3 ホスト端末の操作により、タグ情報の書き込みを行います。

お願い

・書き込んだタグが正しく書けているか、タグ情報を読み取りご確認ください。

RFタグの取り扱いについて

本機は、EPC global Class1 Generation2に対応したRFタグの読み取りが可能です。
汚れたり損傷したRFタグは読み取り不良の原因となりますので、速やかに交換してください。
また、RFタグに磁気を帯びたもの（磁気ネックレス、磁石等）を近づけないでください。タグ情報が破損、または消去される原因となります。

- RFタグを折り曲げない
- RFタグの上に重いものを置かない
- RFタグを水などで濡らさない
- RFタグに磁気を帯びたものを近づけない
- 汚れたり損傷しているRFタグは速やかに交換する

お願い

- RFタグを廃棄する場合は、法律および自治体の条例等に従って処分してください。
  RFタグはプラスチックまたは紙の成分が大部分で、主要都市では可燃ごみに仕分けされています。

バーコードの読み取り方について(スキャナ搭載モデル)

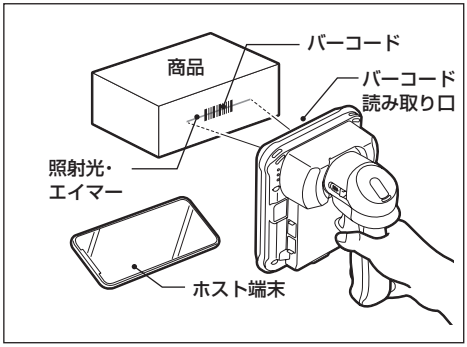
バーコードを読み取る

1 ホスト端末と本機の電源をONにして接続します。

2 バーコード読み取り口より照射光・エイマーが発光されます。

3 バーコードに照射光・エイマーが当たるように本機を操作します。

4 バーコードが正しく読み取られると、RFIDランプが点灯し、ホスト端末に情報が入力されます。



読み取り上の注意

- 直射日光のもとや、非常に明るい場所では読み取れないことがあります。
- バーコードはできるだけ平らにしてください。
- バーコードは左右逆向きにしても読み取れます。
- ビニール袋に入っているバーコードは、袋から取り出して読み取ってください。
- LED光を見つめないでください。
- INDUSTRIAL 2of5、INTERLEAVED 2of5は、バーコード規格上、桁落ちが発生することがあります。
- CompositeCodeを有効にした場合は、UPC/EAN単体のバーコードは読めません。
- 液晶に表示されたバーコードの読み取りは対応しておりません。
- トリガースイッチを有効に設定している場合は、トリガースイッチを押すことでバーコードの読み取りを開始します。
  トリガースイッチを押さない場合は照射光・エイマーが点灯せず、バーコードを読み取ることができません。

補足

- スキャナの読取設定は変更することができます。設定変更方法については、お買上げの販売店にご相談ください。

日常のお手入れ

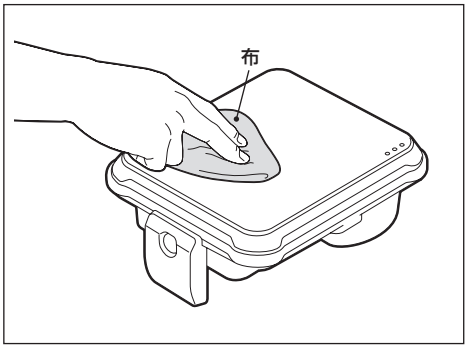
いつもきれいな状態で操作できるように、必要に応じて本機の清掃を行ってください。

⚠警告	・**水を直接かけたり、多量に水分を含んだ布で清掃しないこと** 内部に水が入ると、火災・感電の恐れがあります。

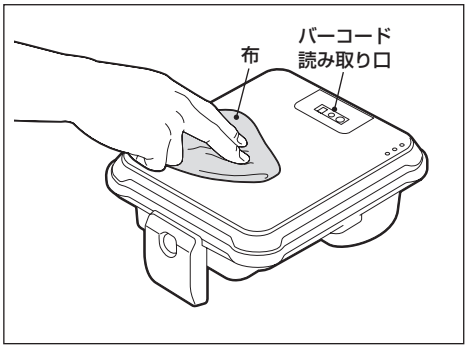
⚠注意	・**シンナーやベンジン、可燃性ガスを使用したクリーナーなどで清掃しないこと** 火災の原因となることがあります。 ・**消毒等で塩素系薬剤を使用する際は、バッテリー端子等の金属部にかけないこと** 故障の原因となることがあります。

1 バッテリーパックおよびACアダプター、USBケーブルを本体から外してください。

2 本機のカバーやアンテナの汚れは、乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。
特に汚れが目立つときは、少量の水を含ませた柔らかい布をかたく絞り、軽く拭き取ってください。



スキャナ搭載モデルのバーコード読み取り口についても、カバーと同様に乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。



お願い

・シンナーやベンジンなどの薬品類は絶対に使用しないでください。
変色・変質の原因となります。

困ったときは

ご使用中に異常が生じたときは、次の点を調べてください。
万一、本機の機能が回復しないときは、電源をOFFにして(バッテリーパック、およびACアダプター、USBケーブルを本体から外して)お買い上げの販売店、またはサービス担当にご連絡ください。

こんなときは(現象)	点検するところ(原因)	直しかた(処置)
電源スイッチをONにしても、電源が入らない。	バッテリーパックが正しくセットされていません。 バッテリーパックは充電されていますか?	充電済みのバッテリーパックを正しくセットしてください。 バッテリーパックの端子に汚れがある場合は、乾いた柔らかい布で汚れをふきとってからセットしてください。
USB給電で正常に起動しない。	USBのポートから十分な電流が供給されていません。	別のホスト端末を接続するか、バッテリーパック、もしくは、ACアダプターによる給電にしてください。
充電済みのバッテリーパックをセットしたが、使用時間が短い。	バッテリーパックのライフサイクル(寿命)を超えています。	充電済みの新しいバッテリーパックに交換してください。
タグ情報が全く読み取れない。	ホスト端末との接続は正しく行われていますか?	『ホスト端末と接続する』のページを確認の上、接続を行ってください。 (→P.39)
	商品にRFタグが付いていますか?	情報が記録されたRFタグの付いている商品を読み取ってください。
	RFタグに情報は記録されていますか?	情報が記録されたRFタグを読み取ってください。
	フィルター設定がされていませんか?	フィルター設定を解除してください。
	トリガースイッチ有効設定になっていませんか?	トリガースイッチを押して読み取りを行うか、設定を変更してください。
読み取れないときがある。	RFタグとアンテナとの間に金属製の物や水などがありませんか?	金属製の物や水などを取り除いてください。
	他の無線機器が動作していませんか?	干渉しない位置に無線機器を移動するか、無線機器の電源をOFFにしてください。
	タグ向きと設定した偏波方向が合っていますか?	タグ向きと合うように偏波設定を見直してください。

こんなときは（現象）	点検するところ（原因）	直しかた（処置）
特定のRFタグが読み取れない。	RFタグが損傷している可能性があります。	読み取り可能なRFタグに交換してください。
RFIDランプとエラー／充電ランプが交互に点滅している。	ハンドリーダーの故障です。	バッテリーパック、ACアダプター、USBケーブルを外し、サービス担当にご連絡ください。
RFIDランプとエラー／充電ランプが同時に点灯している。	キャリアセンス中です。	しばらくお待ちください。 頻繁に発生する場合は、本機および他のRFID機器のch設定を見直してください。
電波を出力できない。	USB給電の場合は送信出力が13mWより大きい場合、電波を出力できないようになっています。	送信出力を13mW以下にするか、バッテリーパック、またはACアダプターによる給電にしてください。
ハンドリーダー本体に取り付けた状態でバッテリーパックの充電ができない。	RFID電波を出力していると充電しません。	電波を止めて、充電してください。
バッテリーパックの充電に時間がかかる。	USBポートから十分な電流が給電されていません。	お急ぎの場合は、ACアダプターまたはバッテリー充電器をご購入ください。
ホスト端末との接続ができない。	USBの場合: USBケーブルが接続されていますか? Bluetoothの場合: BluetoothがONになっていますか?	バッテリーパックおよびACアダプターを本体から外してください。 Bluetooth設定画面で本機をペアリングしている場合は、登録を削除してから再接続してください。 その後、『ホスト端末と接続する』のページを確認の上、再度接続を行ってください。（→P.39）
ホスト端末との接続が切断される。	ホスト端末の通信切断を伴う省電力設定はされていませんか?	ホスト端末の省電力マネージメント設定をご確認ください。

バーコードがうまく読めないとき（スキャナ搭載モデル）

こんなときは（現象）	点検するところ（原因）	直しかた（処置）
バーコードを正しく読み取りできない。	照射光・エイマーをバーコード印刷面に対して垂直に当てていませんか？	バーコードが鏡面反射して読み取れないことがあります。バーコード印刷面と本機の角度を変更し、読み取りしてください。
	バーコードからの距離が近すぎたり、離れすぎていませんか？	バーコードに対して、ゆっくり近づけたり、離したりしてみてください。
バーコードを正しく読み取りできない。	バーコード面が湾曲していませんか？	バーコード読み取り口の中央で読み取りしてください。
	バーコードの読ませ方（斜め読みなど）やバーコードの印字品質により、桁落ち読み取り・誤読をしている可能性があります。	スキャナの設定で読み取りの桁数を固定にしたり、必要なバーコードの種類のみ読み取り可能に設定してください。
	バーコードが汚れていませんか？	バーコードの汚れを拭き取ってください。
	バーコードがかすれていませんか？	かすれていないバーコードを使用してください。
	バーコード読み取り口が汚れていませんか？	バーコード読み取り口の汚れを拭き取ってください。
	直射日光のもとや、非常に明るい場所で使用していませんか？	直射日光や強い光の当たらない場所で読み取りしてください。

こんなときは（現象）	点検するところ（原因）	直しかた（処置）
バーコードの読み取りができない。	読み取るバーコード種別が読み取り許可に設定されていますか？	読み取るバーコード種別を読み取り許可に設定してください。
	バーコードにチェックディジットがないのに読み取りコードがチェックディジット有りに設定されていませんか？	チェックディジット無しの読み取り許可に設定してください。
	スキャンしたバーコードのチェックディジットが間違っていませんか？	正しいバーコードを使用してください。
	読み取り直後に同じバーコードを連続して読み取りしていませんか？	照射光をバーコードから外して、0.5秒以上経過後に読み取りをしてください。
	規格外のバーコードの可能性があります。	正しい規格で印刷されたバーコードを読み取ってください。
	トリガースイッチ有効設定になっていませんか？	トリガースイッチを押して読み取りを行うか、設定を変更してください。

本機の仕様

項目	型式	UF-3000-HRQ-S	UF-3000-HLQ-S	UF-3000-HMQ-S	UF-3000-HR-S	UF-3000-HL-S	UF-3000-HM-S
RFID	電波法	構内無線局、陸上移動局 免許局	構内無線局、陸上移動局 登録局	特定小電力無線局	構内無線局、陸上移動局 免許局	構内無線局、陸上移動局 登録局	特定小電力無線局
	送信周波数※1	916.8MHz～920.4MHz	916.8MHz～920.8MHz	916.8MHz～923.2MHz	916.8MHz～920.4MHz	916.8MHz～920.8MHz	916.8MHz～923.2MHz
	Eirp値※2	最大35dBm		最大27dBm	最大35dBm		最大27dBm
	送信出力	0.5mW～最大1000mW（1W）		0.5mW～最大157mW	0.5mW～最大1000mW（1W）		0.5mW～最大157mW
	出力調整	35段階		24段階	35段階		24段階
	変調方式	PR-ASK					
	通信方式	ミラーサブキャリア・FM0					
	読取距離※3	約9m		約2m	約9m		約2m
	読取速度※4	約500枚/秒	約800枚/秒	約500枚/秒	約500枚/秒	約800枚/秒	約500枚/秒
	対応タグ	ISO/IEC 18000-6 TypeC（EPC global Class1 Generation 2）					
バーコード	読取コード※5	UPC-A, UPC-E（※UPC-E0のみUPC-E1は未対応）, EAN/JAN-13, 雑誌コード(491～強制add-on), EAN/JAN-8, CODABAR, CODE39, Full ASCII CODE39, CODE93, CODE128, GS1-128, GS1 DataBar Omnidirectional, GS1 DataBar Stacked Omnidirectional, GS1 DataBar Expanded, GS1 DataBar Expanded stacked, GS1 DataBar Limited, GS1 DataBar Trancate, GS1 DataBar Stacked·IATA, INDUSTRIAL 2of5, INTERLEAVED 2of5, PDF417, MicroPDF, GS1 Data Bar Composite CC-A, GS1 Data Bar Composite CC-B, GS1 Data Bar Composite CC-C, Data Matrix, QRコード, Micro QR, MaxiCode,			非搭載		
	最小分解能	0.33 ㎜					
	光源	LED（赤色）					
外形寸法	本体	128mm×152mm×65mm					
	本体（据置用スペーサ装着時）	128mm×156mm×65mm					
	ハンドリーダーグリップ（オプション）	53mm×142mm×73mm					
	スマートデバイスアダプター（オプション）	ウォールマウント（本体側）：φ36mm×13.8 mm ユニバーサルアダプター（ホスト端末側）：60mm×48mm×5mm					
質量	本体	約319g…ハンドリーダーグリップ、バッテリーパックを含まず 約490g…ハンドリーダーグリップ、バッテリーパックを含む			約313g…ハンドリーダーグリップ、バッテリーパックを含まず		
	据置用スペーサー	13g					

項目 ＼ 型式		UF-3000-HRQ-S	UF-3000-HLQ-S	UF-3000-HMQ-S	UF-3000-HR-S	UF-3000-HL-S	UF-3000-HM-S
質量	ハンドリーダーグリップ（オプション）	66g					
	スマートデバイスアダプター（オプション）	ウォールマウント（本体側）：　7g ユニバーサルアダプター（ホスト端末側）：　7g					
	バッテリーパック（オプション）	105g					
動作温湿度※6		-20℃～ 40℃　10% ～ 90%（ただし、急激な温度変化・結露・結氷なきこと）					
保存温湿度		-20℃～ 60℃　10% ～ 90%（ただし、急激な温度変化・結露・結氷なきこと）					
保護等級※7		IP54相当					
バッテリーパック（オプション）		リチウムイオンバッテリー　7.2V 2500mAh					
バッテリー動作時間	連続リード動作※8	約2.5時間以上		約3.5時間以上	約2.5時間以上		約3.5時間以上
	通常動作時※9	9時間以上					
耐落下性能※10		1.2mコンクリート床上6面各5回（計30回） 1.5mコンクリート床上6面各1回（計6回）					
インターフェース		Bluetooth Version 5.0(LEのみ)、USB規格2.0 12Mbps Type C コネクタ					
EMC規格		VCCI Class A					
付属品		保証書、据置用スペーサ、据置用スペーサ用ネジ、取扱説明書「使用上のご注意/安全上のご注意」、「バッテリーの正しい使い方」					
オプション		ハンドリーダーグリップ.....（UF-3000-OPHG-S） スマートデバイスアダプター .....（UF-3000-OPSA-S） ACアダプター .....（B-FP800-AC-S） バッテリーパック.....（B-FP803-BTH-QM-R） 6スロットバッテリー充電器.....（B-EP800-CHG6-R） 1スロットバッテリー充電器.....（B-EP800-CHG-R）					

補足

・ 本機の仕様および外観は改良のため、将来予告なしに変更することがあります。
※1 チャネル自動切り替え機能があります。
※2 Eirpとは等価等方輻射電力のことです。このEirpの値が大きいと読取距離が長くなります。（送信出力[dBm]+アンテナ利得[dBi]=Eirp値[dBm]）
※3 読取距離は参考値であり、環境により変化します。（Avery Dennison Japan製 AD-238u8での試験による）
※4 読取速度は参考値であり、環境により変化します。
※5 雑誌コード（491 ～強制 add-on）、FullASCII CODE39、GS1-128、Micro PDF、GS1 Data Bar Composite CC-A、GS1 Data Bar Composite CC-B、GS1 Data Bar Composite CC-C、MaxiCodeはデフォルトでは読取できません。
※6 -10℃以下の低温環境で使用する場合は、あらかじめ常温で電源ONし、動作させた状態で低温環境に持ち込み、使用すること。
-15℃以下の低温環境で使用する場合は、USB給電モードでの動作です。バッテリー動作時は、-15℃以上となります。
0℃以下では充電されません。25℃±5での充電時間を最適とします。
※7 保護等級（IP54）は、バッテリーカバー、USBカバー、ACアダプター接続用コネクタのカバーを閉じた状態での性能指標となります。また本機を長期間使用された場合においては、経年劣化により性能を満たせないことがあります。
※8 送信時間や送信出力を自動で制御し、読取性能と製品の温度上昇値が最適となるよう、動作するための時間となります。
※9 RFID読取動作時：待機時が1:20の場合。常温での参考値であり、使用条件により変化します。
※10本体のみの試験データであり保証値ではありません。

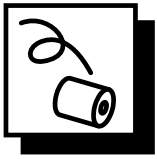
保証とアフターサービス(必ずお読みください)

保証(保証書)について

保証書はお買い上げの販売店でお渡しいたします。必ず、「お買い上げ日・保証期間・販売店名」などの記入をご確認の上、大切に保管してください。
保証書に「お買い上げ日・保証期間・販売店名」など所定事項の記入がないときは、ただちにお買い上げの販売店にお申し出ください。
保証期間中は保証書の規定に従って無料修理いたします。保証期間が過ぎているときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

ユーザー登録について

このたびお買い上げいただきました製品に関するアフターサービスの提供は、サービスを担当するサービスステーションに登録されて実施されます。したがって、製品を受領されましたら、ただちにお買い上げの販売店に「ユーザー登録」の手続きを要請し、ご確認をお願いいたします。
なお、安心してご利用いただけますように「保守サービス契約」をお勧めいたします。詳細はお買い上げの販売店またコールセンターにご相談ください。



消耗品について

消耗品は製品に合った当社純正品を、お買い上げの販売店にご注文ください。

- ●バッテリーパック　B-FP803-BTH-QM-R

※バッテリーパックは本機専用品をご使用ください。

小形二次電池の回収について

この商品はリチウムイオンポリマー電池を使用しています。リチウムイオンポリマー電池はリサイクル可能な貴重な資源です。使用済みリチウムイオンポリマー電池の回収については、最寄りの東芝テックソリューションサービス株式会社サービスステーションにお申しつけください。
当社は資源有効利用促進法の施行により、一般社団法人JBRCの取り組みに参加し、二次電池の回収を行っています。詳しくは、https://www.jbrc.com/をご覧ください。

修理サービスについて

ご使用中に異常が生じたときは、ただちに使用をやめて電源プラグを抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。なお、ご相談されるときは製品の型式名、およびお買い上げ時期を忘れずにお知らせください。

サービスコールの受付時間
修理訪問についての詳細は、お買い上げの販売店またはコールセンターにご相談ください。

修理のご相談など

電話番号はお間違えのないよう、十分ご確認のうえおかけください。

ナビダイヤル®

0570-033-477（コールセンター）

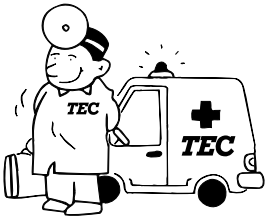
受付時間および修理対応時間：　祝日を除く月～金曜日9:00 ～ 17:00

・ナビダイヤルを利用しています。なお、通話料はお客さまのご負担となります。
（ナビダイヤルは、NTTコミュニケーションズ株式会社のサービスです。）
・お問い合わせ内容の正確な把握と対応品質向上のため、通話内容を記録、録音させていただいております。

※ 記載の内容は予告なく変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。
最新の情報は当社ホームページをご確認ください。

便利メモ	お買い上げ日	年　月　日
	販売店名	
	電話番号	(　　)　－
	サービス担当名	
	電話番号	(　　)　－

お買い上げ日、販売店名、サービス担当名、電話番号などを記入しておくと便利です。



取扱説明書

テック　RFID ハンドリーダー

UF-3000 シリーズ

東芝テック株式会社

UF301025
2026 年 10 月 31 日 第 5 版 発行

Li-ion

リチウムイオン電池はリサイクルへ